

内閣府の地方創生×地方分権のコラボによる地域課題発掘 (H30.12.18~19)

- 内閣府では、地方創生推進事務局が地方創生交付金等を、地方分権改革推進室が国の制度改正等の地方の声を聴く提案募集方式を所管しており、両部局の強みを活かすことで、地域の住民が抱える課題を解決に向けて相乗効果が期待される。
- そのため、熊本県主催の「小さな拠点・地域運営組織の形成に関する説明会」や山都町・美里町等を両部局職員が訪問し、中山間地域の現状把握と意見交換を実施。内閣府からは、地方創生施策と提案募集方式の解説とノウハウを伝達し、一体的に解決方策を検討した。
- 市町村職員からは、提案募集方式で国の制度改善を変えられると知らなかったので、地方創生を考えるときに有用で積極的に活用したい等の好意的な意見が寄せられた。

説明会などの概要

参加者：内閣府地方分権改革推進室 参事官補佐 舘澤 清城
地方創生推進事務局 参事官補佐 太田 裕之
研修員 屋敷 昌範

<小さな拠点・地域運営組織の形成に関する説明会>

- ◆日 時：平成30年12月18日(火) 13:30~16:30
- ◆場 所：熊本県庁6階会議室
- ◆参加者：約30名（市町村職員）

<市町村訪問>

- ◆日 時：平成30年12月19日(水)
- ◆訪問先：山都町役場（町長と意見交換等）、山都町旧浜町第二保育園（御岳西部自治振興会との意見交換等）、美里町（道の駅、コミュニティバス等）



山都町の抱える支障と提案募集方式の活用可能性について山都町長と意見交換



山都町の御岳西部自治振興会のビジョンと具体的な取り組み、課題を教えて頂く



自治振興会が保育園跡地等を利用して開設予定の直売所の課題について意見交換



美里町内の小さな拠点となる道の駅等の現状と課題について意見交換



熊本県庁主催の説明会で小さな拠点形成における現場の支障について意見交換

地方分権改革の旗手会議（H31年度第2回）を開催

【日 時】平成31年1月25日（金）
【場 所】中央合同庁舎第4号館
【参加者】35名



●地方分権改革推進室からの説明

平成30年提案での具体的な提案内容とその取組方針について図を交えて説明したほか、「入門ガイド」の活用、市町村職員研修の充実、地方分権改革の成果・効果の把握、大学との連携などについて説明しました。



●自治体における取組み事例の紹介

青森県より、県庁内での連携体制、市町村における提案募集方式活用に向けた支援の取組みについて紹介いただきました。

愛媛県より、大学と連携した取組（学生向けセミナー、自治体職員と学生によるワークショップ）について紹介いただきました。



●グループディスカッション

地方公共団体等における地方分権の成果の把握とPRについて、それぞれの地域における実例を紹介。その後、どのような方法が考えられるか、グループディスカッションを行いました。



【参加者の声】

- 市町村との連携は重要だと考えているのでぜひ参考にしたい。
- 大学生を巻き込んだ積極的な取組みがすばらしいと感じた。
- 職員への浸透に悩まれている点は、本県の肌感覚と一致するので参考となった。
- 他自治体の方と接する貴重な機会で、よい刺激になった。
- 各市の課題は共通していることを確認できた。
- グループワークを行って旗手同士のつながりを作りたい。 等